

各学科における教員養成の理念

令和7年度に在学している学科について作成している。

■日本語文化学科（中二種免（国語））

社会生活の中で要求される日本語コミュニケーション能力の養成を学科教育の根本理念とし、日本語学・日本文学及びその関連分野の教育を通じて、社会に有為な人材を養成することを目的としている。

教員養成においては、中学校国語「教科に関する専門的事項」を中心に日本語学・日本文学に関する専門科目の学修を通して、幅広い専門的教養を身につけた中学校国語科教員の養成を目指している。

■英語キャリア・コミュニケーション学科（中二種免（英語））

【Ⅰ】幅広い教養と豊かな人間性を育む全人教育を実践し、人・家庭・社会に貢献できる女性の育成を目指すという本学の目標と理念の下に、英語教育の分野において幅広く活躍することのできる人材の育成を目指す。

【Ⅱ】教員養成に関する理念は、「言語や文化に対する理解」「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」「聞く・話す・読む・書くコミュニケーション能力の育成」の指導を学校現場で行うことのできる、実践力ある中学英語教員の育成である。

【Ⅲ】上記の目的を達成するために、1年次から2年次まで「英語を聞く・話す・読む・書く」能力を育成する基礎的な科目を一貫して設置している。

■幼児教育学科（幼二種免）

立学の精神と教育推進宣言に則り、幼児教育学科は、平和で民主的な社会の形成者として、新しい時代の要請を視野に入れつつ、教育についての理論と実践を学び、教育や保育の世界に貢献する女性の育成を目標とする。この目標のもと、豊かな人間性と創造的能力を基礎に、高い資質・能力を有し、人間としての優しさを身につけた教育者を育成する。

■食生活学科（栄教二種免）

以下の2つの目標を設定し、有為な栄養教諭を養成し、もって人・家庭・地域社会に貢献する。

① 家庭環境、社会環境の変化に伴う食習慣・食文化継承の減衰、過剰栄養や栄養のかたよりに引き起こされる生活習慣病の増加などの諸問題に適切に対処するとともに、その専門的知見と技能を学校教育に活用できる。

② さらに、健康な国民の育成、すなわち次代を担う児童・生徒の全人教育を食物栄養学の専門的知見を積極的に活用しつつ推進し、「学校給食の管理」及び「食に関する指導」を一体のものとして実践できる。